

このページを見ながら作業を進めましょう。

できたら

誰か1人の負担が大きくなるように全員で作業を分担します。

第1回	<input type="checkbox"/>	1	全員でリテリングに向けてのヒントを読み、確認しましょう。
	<input type="checkbox"/>	2	まずは日本語で伝えたいことをまとめてみよう。
	<input type="checkbox"/>	3	グループのメンバーでまとめた日本語の文を整理して、グループ全体として伝えたい内容を決めよう。
	<input type="checkbox"/>	4	グループで分担してリテリングの英文を作成していこう。
第2回	<input type="checkbox"/>	5	一通り完成したらグループ全員で読み、疑問点は調べたり先生に聞いたりする。
	<input type="checkbox"/>	6	英文が間違えなければ分担して読む練習をしましょう。その際にお互いに聞きあってアドバイスを送りあおう。
	<input type="checkbox"/>	7	それぞれ自分の担当箇所が読めるようになったら全体を通して練習をしましょう。
第3回	<input type="checkbox"/>	8	発表に向けて最後の確認、練習をしましょう。
	<input type="checkbox"/>	9	発表を頑張ろう！他のグループの発表を聞くことは自分たちの参考にもなります。
	<input type="checkbox"/>	10	最後にこの活動を通しての振り返りをします。以下のリンクからアンケートに答えましょう。

0.00%

Reflection



Meeting Sheet					
	第1回	第2回	第3回	グループの目標	
班員名	自分の作業・目標	自分の作業・目標	自分の作業・目標	第1回	
☆					
				第2回	
				第3回	
☆はリーダー					

Hint book for Retelling

ではそもそもリテリングとはなんですか？リテリングとは英文を読み、その得た情報を読んでいない他者にでもわかるように説明することを言います。この際に元の英文をそのまま使用することも問題はありません。ただそれだけでは相手に伝えるのは難しいことがあります。ではどうするとリテリングを上手にすることができるのでしょうか？

1 自分の知っている別の表現に言い換えてみる。

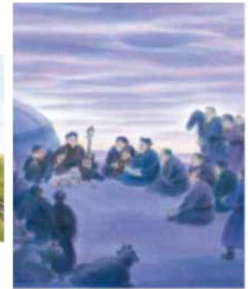
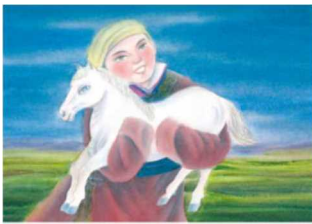
これまでに皆さんは様々な英文法やフレーズを学んできました。言い換えができそうな表現は積極的に使ってみましょう。もちろん、文法的な言い換えや熟語でなくとも単語だけ変えるなども大丈夫です。例えば「子ども」は英語で child と表現することもできますが kids という表現もあります。得意なことを表現する際には can を使って言うこともできますが、be good at も同じ意味を伝えることができます。

2 内容を要約してみよう。

相手に内容を伝えるとは言っても全ての内容を伝えなければならないというわけではありません。自分たちで特に必要であると感じた部分を伝えましょう。その際にこれまでにやってきた summary writing の英文を参考にするとよいかもしれません。

3 イラストを参考にしよう。

今回の発表ではデジタル教科書のピクチャーカードを見せながら話すことができます。それぞれのピクチャーカード毎に英文をまとめていくと考えやすくなるかもしれません。



4 英語の発音や抑揚にも注意してみよう。

英文が完成したら次は練習です。大事なところは強調して読んだりすることで相手に内容がより伝わりやすくなります。発音や音読は1人だけでは中々上達することはできません。周りの友人たちと協力しながら練習してみてください。

これらのことを意識してリテリングに挑戦してみよう！